

# 恵み

長岡キリスト恵み教会だより第106号  
(2017年5月発行)

## あるうちに



「何のために生きているのだろうか?」「誰でも一度は、考える人生の疑問です。」

しかし、この問いに明確な答えを持っている人は、果たしてどれだけ居るでしょうか?

目は、見るために存在し、耳は聞くために機能しています。私達の身体のごれひとつを取ってみても、目的のない部分はないのです。では、私達の人生は何のために存在しているのでしょうか?

聖書は、世界中で多くの人々に読まれている永遠のベストセラーです。聖書には、人間の生きる目的がはっきりと記されています。聖書という書物について知っている方は多くいますが、聖書がどのような内容であるかを知っている方は少ないのです。

聖書に記されていることが何であるかを是非、皆様  
に知っていただきたいのです。

# 特別伝道集会 のお知らせ

「まことに、まことに、あなた方に告げます。  
信じる者は永遠のいのちを持ちます。」(聖書)

6月10日(土)午後 2:00 ~  
午後 7:30 ~

6月11日(日)午前 10:30 ~  
午後 7:30 ~

6月12日(月)午前 10:30 ~  
講師：山家 義之師  
(津久野キリスト恵み教会牧師)

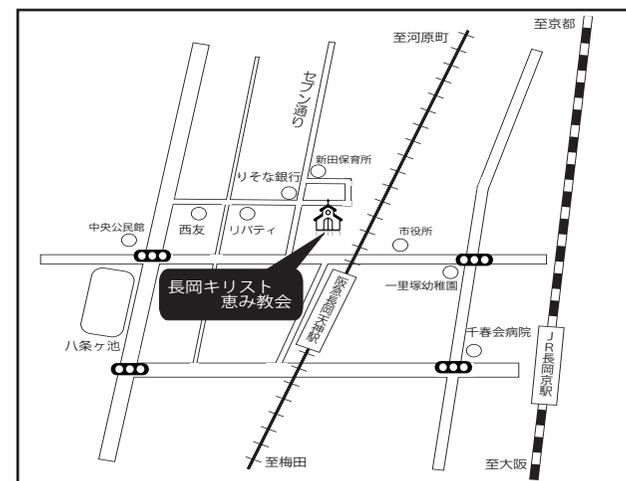


## 長岡キリスト恵み教会

牧師 増山康友  
京都府長岡京市長岡一丁目2-6  
TEL/FAX 075(955)4582  
<http://megumi-church.com/nagaoka/>



すべて入場無料です。  
お気軽にお越しください。



### 定例集会

- 日曜日-
- 日曜学校 am 9:00 ~
- 礼拝 am 10:30 ~
- 中高生クラス pm 2:00 ~
- 聖書学び会 pm 6:00 ~
- 水曜日-
- 婦人会 am 10:00 ~
- ジョイクラス (中高生祈り会) pm 5:30 ~
- 祈り会 pm 7:30 ~
- 土曜日-
- 聖書学び会 pm 3:00 ~
- 聖書学び会 pm 7:30 ~

当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理研)、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)等とは一切関係がありません。これらの団体でお悩みの方は、是非ご連絡下さい。

## 聖書は神のこぼれ

聖書は特別な書物です。それは一冊の本ですが、二つの部分から成り立っています。前半が旧約聖書で後半は新約聖書です。旧約聖書はさらに三十九巻に分かれ、新約聖書も同様に二十七巻によって構成されています。聖書全体は六十六巻によって出来ています。

旧約聖書の最初の五巻、創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記は、イスラエルの預言者モーセによって記されました。今から約二千五百年前のことです。日本では縄文時代にあたります。旧約聖書の最後二十九番目のマラキ書は、同じイスラエル人の預言者マラキによって、紀元前四百数十年頃に記されました。旧約聖書二十九巻が完成するのに千年以上も

す。これは驚くべきことです。歴史上のいかなる名著も全世界の言語に訳された本は一冊もありません。聖書は世界中の人々に愛読されているベストセラーでもあるのです。聖書が記された最大の目的のひとつは、主イエスから永遠のいのちの救いを受けることができる事実が記されている点です。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネ伝三章十六節)

主イエスが与えて下さる永遠のいのちは、文字通り永遠に続くいのちのことです。ですから人が死ぬ時も失われることがありません。肉体がくち果てた後にも生き続けるいのちが永遠のいのちなのです。

の歳月が費やされたのです。新約聖書は、神の子イエス・キリストの生涯を記録したマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの福音書から始まり、ヨハネの黙示録で終了します。新約聖書は紀元四十年の終わり頃から、紀元九十年の末にかけて記されました。六十六巻から成り立つ聖書の完成に費やされた年月は、実に千六百年となります。これ程の歳月が費やされた書物が他にあるでしょうか。



この聖書は、約四十名の神のしもべたちによって著されました。彼らの中には、イスラエルの王であったダビデ、ソロモンもいます。アモスは、ユダヤの農夫だった人です。主イエスを信じる前、クリスチャンを激しく迫害したパウロ

すべての人に共通した人生最大の問題は、死です。誰も避けることのできない死の現実が、やがてやって来ます。死の恐ろしさは、この地上の生活が終わることに対するものではありません。死後がどうであるかという不安と恐怖心であるのです。「人間には、一度死ぬことと、死後に裁きを受けることが定まっている。」

(ヘブル書九章二十七節)

聖書にはこのように警告されています。



人は、犯罪を犯せば当然法律に従って裁きを受けます。同様に、神はすべての人間の罪を裁かれます。罪とは、天地の創造主である神を神として認めず、心の欲望に従って生きる生き方を意味します。

口は、新約聖書の約半分の十四巻を記しました。主イエスに出会う前は、ガリラヤ湖の漁師であったペテロ、ヨハネも記しています。マタイは、かつてユダヤの同胞から税金を取り立てた取税人でした。主イエスの二人の弟ヤコブとユダも聖書の著者となりました。

「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。」

(ヨハネ伝五章三九節)

主イエスの語られた言葉です。この「聖書」は旧約聖書を意味します。主イエスが誕生する四百数十年前に完成された三十九巻の旧約聖書は、イエス・キリストについて記されていると、主イエス自身が証言しているのです。これは、旧約聖書の中にイエス・

人間はすべて、神の前に罪人であるのです。ですから罪は、死後、地獄で永遠に裁かれます。死の恐ろしさは、実に地獄での終わりのない裁きにあるのです。罪を認め、悔い改めることが重要です。救い主イエスは、罪を悔い改める人々のすべての罪を赦して下さいます。そのために、主イエスは、大変な犠牲を払って下さいました。あなたの罪を赦すために、あなたの身代わりとなって、主イエスは十字架について死んで下さったのです。



紀元三十年四月のことでした。あなたの罪のために死なれた主イエスは、葬られた後、三日目に死の力を打ちやぶり肉体を持って復活されました。主イエスの復活は、歴史的な

キリストに関する多くの預言が記されていることについて言及した言葉です。創世記からマラキ書までに、イエス・キリストがどの民族から出たのか、どのような女性から生まれるのか、どんなことを語り、行おうのか、そしてその生涯の最後の十字架の死と復活等の約三五〇の多くの預言が記されているのです。新約聖書は、旧約中のイエス・キリストに関する預言がすべて現実となった事実を彼の生涯を通して明らかにしています。聖書に関する驚くべき点はこれだけではありません。聖書の原典のことばは、旧約がヘブル語、新約がギリシャ語で著されましたが、今日、世界中の言語に翻訳されています。聖書を読むことのできない民族は一つもないので

事実なのです。主イエスの遺体を収めた墓は今もからのままです。復活された主イエスは、五百人以上の弟子の前に現れ、彼らを励まされました。新約聖書を著したペテロ、ヨハネ、パウロは復活された主イエスに出会い、復活の証人となったのです。

どうか、主イエスをあなたの地獄からの救い主、神として信じて下さい。主イエスを信じることによって罪の赦しを得、永遠のいのちをいただいで、主イエスと共に天国に住むことができるのです。

